

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結会計期間	前連結 会計年度
流動資産	174,039	173,593
固定資産	116,538	119,139
① 資産合計	290,578	292,733
流動負債	75,295	77,849
固定負債	27,676	28,463
② 負債合計	102,971	106,312
③ 純資産合計	187,606	186,420
負債純資産合計	290,578	292,733

四半期連結損益計算書及び 四半期連結包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
④ 売上高	125,088	123,084
売上総利益	31,376	31,483
販売費及び 一般管理費	21,549	21,438
⑤ 営業利益	9,826	10,044
経常利益	10,107	9,817
税金等調整前 四半期純利益	10,107	9,219
⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,169	6,015
四半期包括利益	3,518	4,697

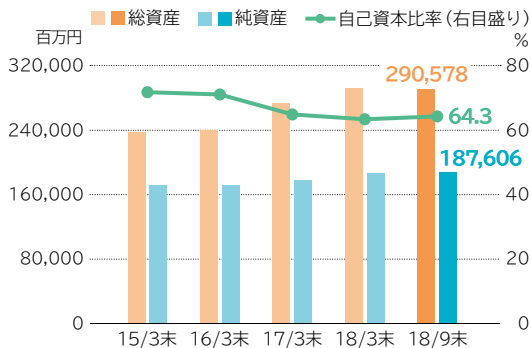
□ポイント!

- ① 資産合計** 現金及び預金、のれんが減少したことなどにより、総資産は21億55百万円減少しました。
- ② 負債合計** 支払手形及び買掛金、長期借入金が減少したことなどにより、負債は33億41百万円減少しました。
- ③ 純資産合計** 為替換算調整勘定が減少しましたが、利益剰余金が増加したことなどにより、純資産は11億85百万円増加しました。
- ④ 売上高** 印刷・情報材事業部門が減少しましたが、アドバンストマテリアルズ事業部門をはじめとするその他の事業部門が増加したことにより、売上高は20億3百万円増加しました。
- ⑤ 営業利益** 販売数量の増加や米国子会社の収益改善などがありましたが、パルプを中心とする原燃料価格の上昇や固定費の増加などにより、営業利益は2億18百万円減少しました。
- ⑥ 親会社株主に帰属する四半期純利益** 前年同期に米国子会社において事業構造改善引当金繰入額9億41百万円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億53百万円増加しました。

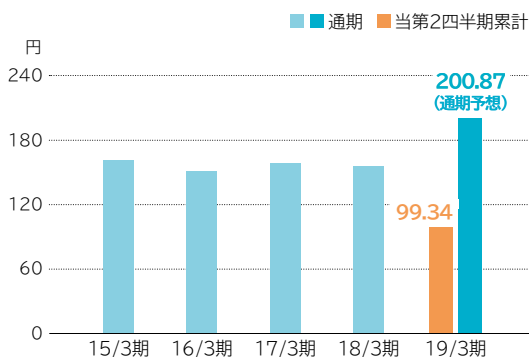
四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	10,423	13,545
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,774	△1,716
財務活動による キャッシュ・フロー	△3,652	△4,246
現金及び現金同等物の 四半期末残高	55,129	48,993

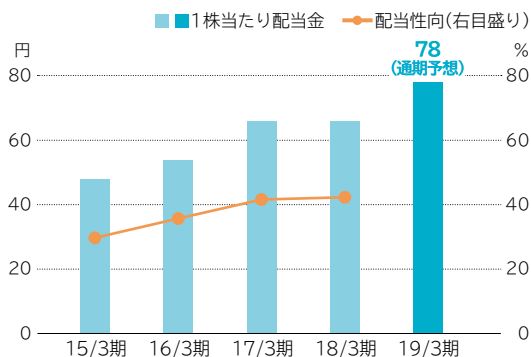
総資産・純資産・自己資本比率



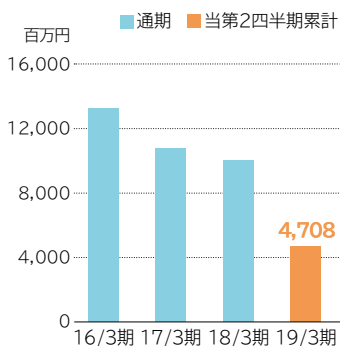
1株当たり四半期(当期)純利益



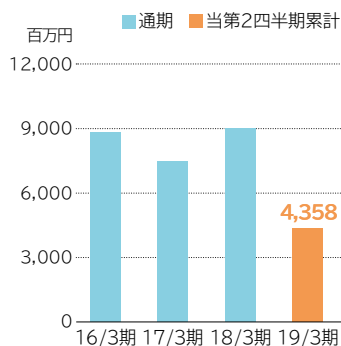
1株当たり配当金・配当性向



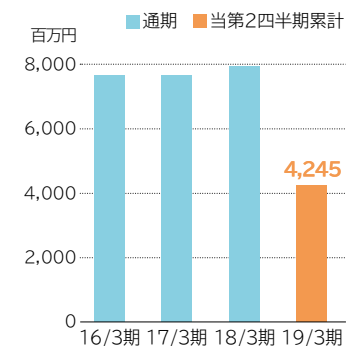
設備投資額



減価償却費



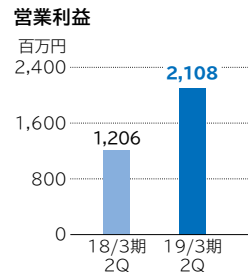
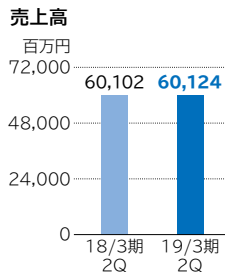
研究開発費



印刷材・産業工材関連

売上高 **601億24百万円** (0.0%増)

営業利益 **21億8百万円** (74.8%増)



印刷・情報材事業部門 売上高 **426億53百万円** (1.8%減)

主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム

シール・ラベル用粘着製品は、国内では宅配・通販関連や化粧品などのアイキャッチラベルの需要が堅調だったものの、豪雨や大型の台風などの影響を受け食品関連が低調に推移しました。海外ではアセアン地域において堅調に推移しましたが、米国において円高による目減り影響を受けました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



産業工材事業部門 売上高 **174億71百万円** (4.9%増)

主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 内装用化粧フィルム
- 看板・広告用フィルム

国内では通販向け装置やウィンドーフィルムが堅調に推移し、海外では二輪を含む自動車用粘着製品がインドやアセアン地域において順調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



※ セグメント別の営業利益および営業利益構成比は、セグメント間取引消去前の数値に基づいています。

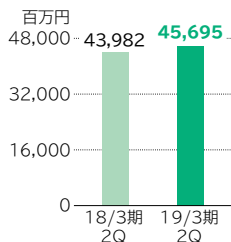
※ ()内は前年同期比

電子・光学関連

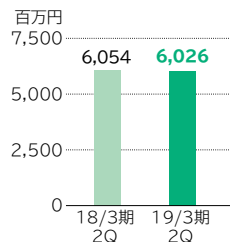
売上高 **456億95**百万円 (3.9%増)

営業利益 **60億26**百万円 (0.5%減)

売上高



営業利益



アドバンスマテリアルズ事業部門 売上高 **261億56**百万円 (4.7%増)

主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ

半導体関連粘着テープは一時的な生産調整の影響もあって前年同期並みとなり、半導体関連装置は設備投資抑制の影響を受け僅かに減少しました。積層セラミックコンデンサ関連テープについては、スマートフォン、車載、サーバー用などの需要が好調だったことにより増加しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



オプティカル材事業部門 売上高 **195億39**百万円 (2.8%増)

主要製品

- 偏光・位相差フィルム／粘着加工
- 偏光フィルム／表面加工
- 偏光フィルム用保護フィルム

液晶ディスプレイ関連粘着製品はテレビの大型化により需要が順調だったほか、スマートフォン用などの中小型向けも堅調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。

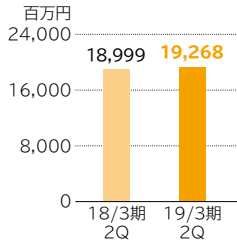


洋紙・加工材関連

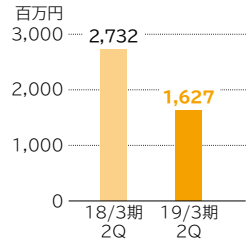
売上高 **192億68**百万円 (1.4%増)

営業利益 **16億27**百万円 (40.4%減)

売上高



営業利益



洋紙事業部門 売上高 **81億70**百万円 (0.3%増)

主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 高級紙製品用紙

主力のカラー封筒用紙は前年同期並みだったものの、耐油耐水紙などが堅調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



加工材事業部門 売上高 **110億97**百万円 (2.3%増)

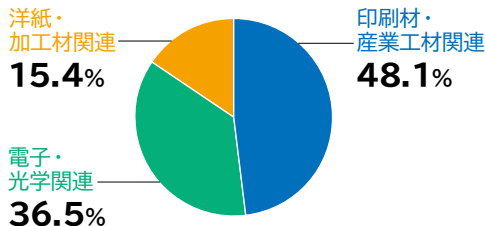
主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙

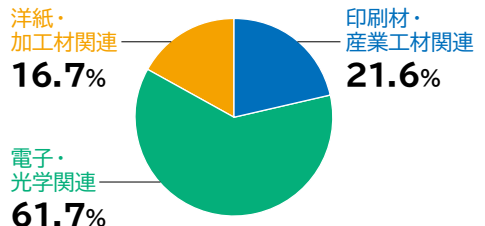
一般粘着製品用、電子材料用剥離紙は低調だったものの、光学関連製品用剥離フィルムや炭素繊維複合材料用工程紙が順調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



売上高構成比



営業利益構成比



株式情報 (2018年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式4,389,546株を除く)	72,186,794株
単元株式数	100株
株主数	6,303人

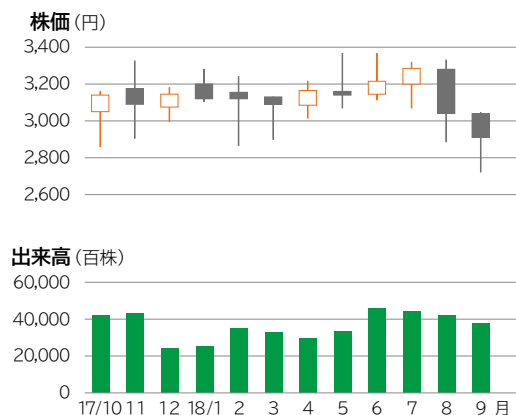
大株主の状況 (上位10人)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本製紙株式会社	21,737	30.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,439	4.76
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,839	3.93
全国共済農業協同組合連合会	2,255	3.12
庄司 たみ江	1,796	2.48
塩飽 恵以子	1,543	2.13
株式会社かんぼ生命保険	1,260	1.74
GOVERNMENT OF NORWAY	1,040	1.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,009	1.39
リンテック従業員持株会	940	1.30

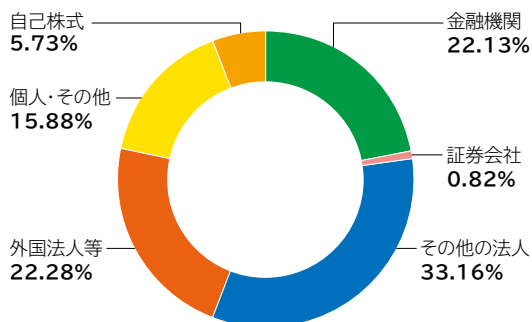
注1. 当社は自己株式4,389,546株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

株価および出来高の推移 (2017年10月~2018年9月)



所有者別分布比率



会社概要 (2018年9月30日現在)

社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
本社	東京都板橋区本町23-23
設立	1934年10月15日
資本金	232億2,066万4,911円
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結: 4,794人 単体: 2,558人 (2018年3月31日現在)
事業所	営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻(群馬県)、熊谷・伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、 龍野・新宮(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居・新居浜(愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま(埼玉県)
連結子会社	国内: 3社 海外: 37社

株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末: 3月31日 中間: 9月30日
法定公告掲載 ホームページアドレス	http://www.lintec.co.jp/koukoku/
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・フリーダイヤル	☎ 0120-232-711
・ホームページアドレス	https://www.tr.mufug.jp/daikou/

IRメール配信サービス のお知らせ



当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、下記の当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。

<http://www.lintec.co.jp/ir/>

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。



● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
URL <http://www.lintec.co.jp/>

発行 広報・IR室 2018年12月
TEL. (03) 5248-7741
FAX. (03) 5248-7754

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円に「LINTEC」「LINKAGE(結合)」「LOYALTY(誠実)」を表す三つの「L」を組み合わせたデザインとなっています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。